

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、該当委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用して欲しくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	院内がん登録を活用した胸膜プラークを持つ肺がん患者実態調査		
② 実施予定期間	承認日から 西暦 2019 年 6 月 20 日		
③ 対象患者	2016年に肺がんの診断を受け「院内がん登録」に登録した患者さん		
④ 対象期間	2016年1月1日～2016年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	呼吸器科		
⑦ 研究責任者	氏名	谷口雅彦	所属 がん相談・診療支援センター がん登録室 外科統括部長
⑧ 使用する資料等	対象患者さんの診断時の胸部CT画像と院内がん登録情報を用います。 院内がん登録情報のうち、病院等の名称、患者ID番号（院内がん登録連番）、性別、生年月日、原発部位《局在コード》、原発部位《テキスト》、病理診断《形態コード》、病理診断《テキスト》、診断日、治療前（臨床分類）のデータを利用します。		
⑨ 研究の概要	<p>本調査は環境省の、「平成30年度がん登録を活用した石綿健康被害救済制度周知方法等の検討に係る調査業務」の一部として国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センターが実施します。この調査に当院も参加いたします。</p> <p>本調査では、既に登録しています院内がん登録情報から無作為に肺がん患者さんを抽出し、当該肺がん患者さんの診断時胸部CT情報から、救済制度の認定基準の胸膜プラークの有無を判定することで、調査対象肺がん患者さんにおける石綿による肺がん患者さんの割合を推計します。また、施設特性や地域ごとに石綿による肺がん患者さんの分布の特徴を把握します。この調査結果は、救済制度の周知方法を検討するときの情報の一つとして環境省石綿健康被害対策室に報告されます。</p> <p>該当肺がん患者さんの肺がん診断日に直近の治療開始前に撮影された胸部CT画像は、指定のCD-Rに複写し、当院で適切に匿名化を行い、調査事務局である国立がん研究センターへ返送します。</p>		
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2018年11月6日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳しいことにつきましては、下記の問い合わせ先にご連絡ください。		

⑫ 結果の公表	環境省に報告されます。
⑬ 個人情報の保護	個人を特定できる情報は一切公表されることはありません。個人を識別できる情報は聖マリア病院で特有の番号に置き換え（匿名化）て、管理保管します。研究データや研究に関わる資料は、研究終了後から10年間厳重に保管し、その後適切に破棄します。
⑭ 知的財産権	環境省
⑮ 研究の資金源	環境省からの調査研究費で実施されます。
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	がん相談・診療支援センター がん登録室室長 責任者：外科統括部長 谷口雅彦 がん相談・診療支援センター がん登録室 担当者：がん登録実務者 宮川滝子
	電 話 0942-35-3322（代表） 担当者内線：6636